

## 2018年9月号 財務諸表論 つぶ問

### 2問目

**問題** 以下の各問に答えなさい。

(問1) 討議資料「財務会計の概念フレームワーク」における会計情報の質的特性として、最も基本的な特性を挙げなさい。

(問2) (問1)の特性を支える「意思決定との関連性」と「信頼性」について、それぞれ簡単に説明するとともに、両者の関係を説明しなさい(300字程度)。

### 解答

(問1) 意思決定有用性

(問2) まず「意思決定との関連性」とは、会計情報が投資家の意思決定に積極的な影響を与えることを意味し、投資家の予測や行動が改善されるような情報価値を有する会計情報には、意思決定関連性がある。他方、「信頼性」とは、会計情報が信頼に足ることを意味し、会計情報が一部の関係者の利害に偏らないという中立性、また会計情報が測定者の主観に左右されないという検証可能性、そして企業の活動事実と会計上の項目とが明確に対応するという表現の忠実性の3つの下位概念によって支えられている。「意思決定との関連性」と「信頼性」は、一方を重んじれば他方が軽んじられるという、トレード・オフの関係にある。(283字)

### 解説

討議資料「財務会計の概念フレームワーク」における会計情報の質的特性について、意思決定有用性の構造に関する問題です。概念構造については、2018年9月号(財務諸表論)の【図表4】会計情報の質的特性の概念図を把握することが重要です(以下に再掲しておきます)。意思決定有用性は、投資家が企業の不確実な成果を予測するのに有用であるという性質です。この基本的要請を満たすため、あらゆる会計基準の規定の背景には、対象とする取引や事象について、投資家の意思決定に有用な会計情報を提供するという目的があります。今後、各種会計基準の原文を読み進めていけば、「有用な情報を提供する」という趣旨のフレーズに出会うことが多々あるでしょう。そのような考え方の背後に、本問で確認したような意思決定有用性に関する概念構造があることを知っておくことは、とても重要です。概念そのものを理解することは簡単ではありませんが、【図表4】のような図(またはイメージ)としてとらえておけば、知識の整理が行いやすくなるでしょう。

【図表 4】 会計情報の質的特性の概念図

